

令和2年度～令和6年度

浦添市学校業務改善プラン

1. 目的

学校における働き方を見直し、限られた時間の中で教師の専門性を生かしつつ、授業や授業準備、研修の時間や、児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、教師が自らの人間性を高め、児童生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるようにする。

2. 数値目標

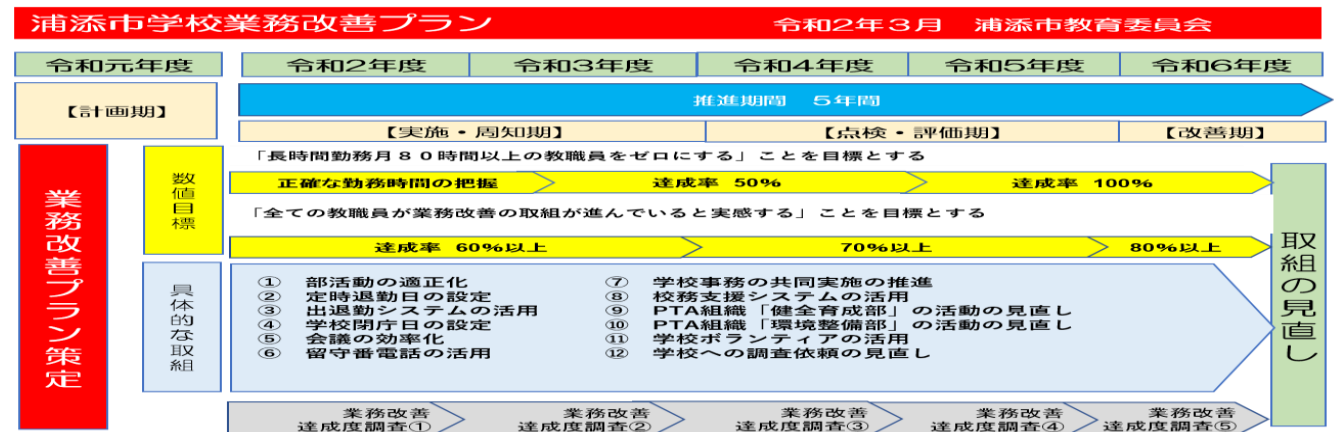
教職員の学校勤務時間を縮減するため、時間外勤務の削減目標と年次ごとの削減目標を下記の通り設定する。

(1) 「長時間勤務月80時間以上の教職員をゼロにする」ことを目標とする。

- ① 令和2年度: 正確な時間外勤務を把握。本プランの推進と業務の在り方の意識化を図る。
- ② 令和3～4年度で、達成率50%に近づける。
- ③ 令和5～6年度で、達成率100%に近づける。

(2) 「全ての教職員が業務改善の取組が進んでいると実感する」ことを目標とする。

- ① 令和2～3年度: 達成率60%以上
- ② 令和4～5年度: 達成率70%以上
- ③ 令和6年度: 達成率80%以上



3. 学校業務改善の実際の取組

これまでの小中学校教職員の業務内容を「基本的には学校以外が担うべき業務」「学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務」「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」という視点で見直し、保護者や地域の方々の協力を得ながら、教職員が本来の業務に集中できる時間、児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、質の高い教育を持続的に行うことのできる教育環境を整えるために、学校業務改善に向けた取組を全小中学校で推進する。

9 PTA組織「健全育成部」の活動の見直し



地域の子は地域で守っていきましょう！

- ◆教職員の夜間パトロール参加の見直し
- ◆パトロールの回数の削減
- ◆管理職等が情報交換会に参加

基本的に教職員は、勤務時間外で行う夜間パトロールに参加せず、保護者・地域の方々が中心となって子ども達を見守っていくことが、地域力を高めることにつながる。

10 PTA組織「環境整備部」の活動の見直し



地域のよりどころである学校をみんなできれいにしよう！

- ◆休日の動植物へのえさ・水やりの全保護者による輪番制の導入
- ◆PTA作業の在り方についての見直し

休日の学校の草花の水やりや生き物へのえさやりを保護者が輪番で行うことやPTA作業を保護者が中心となって行うことで、学校が地域のよりどころであることを認識することができる。

11 学校ボランティアの活用



授業づくりへ参加し、子どもの学びを豊にしよう！

- ◆安全に係るボランティアの確保
- ◆学習支援に係るボランティアの確保
- ◆環境整備に係るボランティアの確保
- ◆人材バンクの作成と充実

地域人材をゲストティチャーとして活用したり、学習支援ボランティアとして活用することが授業の質を高め子ども達の学びを活性化することができる。

12 学校への調査依頼の見直し



計画的に取り組めるように、見直しを持たせた調査依頼をする！

- ◆市教委へ調査に関する改善の要望・提案

教育委員会から学校へ依頼する調査や報告等を一覧にまとめ、見直しを持たせ計画的に担当者が処理できるようにするとともに調査依頼の見直しを行う。

1 部活動の適正化



限られた時間の中で計画的に取り組もう！

- ◆毎週水曜日は「ノー部活デー」
- ◆土日のうち1日は休養日
- ◆毎月第3日曜日は「家庭の日」
- ◆平日の練習時間
 - 3月～9月 活動終了18:45 下校19:00
 - 10月 活動終了18:15 下校18:30
 - 11月～1月 活動終了17:45 下校18:00
 - 2月 活動終了18:15 下校18:30

生徒及び教職員において次のことが確保される。

- 生徒の健康管理
- 家庭学習時間等
- 下校後の計画的な取り組み
- 下校時の安全
- 教職員の授業づくり・事務処理の時間

3 出退勤システムの活用



勤務時間内で仕事を終えることを意識しよう！

- ◆管理者による全職員の勤務状況の把握
- ◆個人や全体の内容・量のバランスの見直し
- ◆休日出勤における打刻の徹底

教職員の勤務状況を把握し、管理職が超勤の理由、原因を知り、業務の見直しや困り感を取り除くことで、組織体制の改善につなげることができる。

5 会議の効率化



PDCAサイクルを意識した会議を実践しよう！

- ◆勤務時間外会議(校内外)の縮減
- ◆会議内容の精選・焦点化
- ◆提案の仕方の工夫
- ◆会議への参加者の見直し
- ◆開始・終了時間の厳守

勤務時間内で終わるように、計画的な提案・資料作成・配布、焦点化した会議の進め方を工夫する。

7 学校事務の共同実施の推進



共通理解・共通実践し学校経営を支えよう！

- ◆管理職、県・市費事務職員の調整会の開催
- ◆学校事務作業の分担の見直し
- ◆事務職員と教員の連携(文書・事務処理の円滑化)

教職員の業務や児童生徒に係る事務処理等をミスがなく、スムーズにできるよう定期的に共通理解を図ることで、学校経営の充実につなげられる。

2 定時退勤日の設定



定時退勤の習慣化を図ろう！

- ◆毎週水曜日は「定時退勤日」
- ◆時間外勤務の縮減
- ◆教職員のタイムマネジメントの意識化
- ◆業務の効率化
- ◆持ち帰り業務に対する職員の意識改革

勤務時間内に仕事を終える習慣を身につける。教職員のライフ・ワーク・バランスから充実した教職生活につなげることができる。

4 学校閉庁日の設定



計画的に休み、体調管理、自己研鑽に努めよう！

- ◆学校閉庁日の校内研修や学校行事の自粛(リフレッシュウィーク)
- ◆学校閉庁日の部活動の停止、合宿等の禁止

教職員がまとまった休暇をとることで、心身共にリフレッシュしたり、自己研鑽に努めたりすることができる。

6 留守番電話の活用



放課後の連絡体制を構築し地域力を高めよう！

- ◆留守番電話での対応時間の設定
小学校17:00以降
中学校19:00以降
- ※緊急時は警察・消防・関係機関に連絡する
- ◆保護者・地域へ理解と協力が不可欠

教職員の勤務時間外については、保護者や地域と一緒に子ども達を見守っていくことが地域力を高め、子ども達の健全育成につなげることができる。

8 校務支援システムの活用



仕事の効率化を図り、適切な指導につなげよう！

- ◆積極的な活用
- ◆利便性向上に係る情報提供等

事務処理や成績処理を効率的に行うことができ、一人一人の子ども姿を適切に評価することができ、丁寧な評価することで、次の指導につなげられる。